

ゼクシィ

2015年6月17日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

6月といえばジュンブライド！『ゼクシィ』が最新ブライダルトレンドを教えます

周囲を巻き込む「シェアプロポーズ」に注目

肩書きより招待客の“心地よさ”を重視した「おもてなし席次」もじわじわ

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：山口 文洋）が企画制作する結婚情報誌『ゼクシィ』は、最近のブライダルトレンドとして、事前準備を手伝ってもらう、あるいは事後にSNSなどでプロポーズを開示する「シェアプロポーズ」と、肩書きにとらわれず、ゲストの心地よい過ごしやすさを重視した披露宴での席次「おもてなし席次」の2つをご紹介します。

■プロポーズは周囲を巻き込むのがトレンド?! 今後シェアしたい派は77.6%!

愛する人への一世一代の決意であるプロポーズ。最近ではフラッシュモブに挑戦したり、公の場でプロポーズをするカップルなどの様子をSNSやまとめメディアなどから見聞きする機会が誰しも一度くらいはあるのではないでしょうか。結婚をめざすカップルが2人きりではなく、周囲も巻き込むような「シェアプロポーズ」について『ゼクシィ』で調査したところ、12.6%の方が準備を友人に手伝ってもらうなどシェアプロポーズを実施したことが分かりました。また、「周囲の誰かにプロポーズへの協力を頼まれたら手伝いたい」と回答した人は77.6%にのぼりました。プロポーズと言え、かつては“いつしてくれるのか?”“OKしてくれるのか?”と、する側・される側ともに手さぐりのイベントでした。しかし調査では実に73.2%の人が、プロポーズをする前に成功する感触（あるいはプロポーズされる予感）を得ていることが判明。すでにプロポーズするもの（されるもの）と認識があるので、親しい人に協力を仰ぐ・特別な場を選ぶなど、その“方法”に重点をおこうとさまざまな演出を考えるケースも増えているようです。（調査詳細は次頁）

■毎週末実施されているほどの人気プランも。新たな「シェアプロポーズ」プランが続々登場!

大切な彼女に素敵な思い出を作ってあげたいけれど、一人では無理…。そんな方の為に、ホテルスタッフに扮したダンサーや外国人シンガーが突然歌や踊りを繰り広げるプロポーズや、チャペルで友人を呼んだサプライズプロポーズなど、愛の告白をサポートするプランを用意する企業も徐々に増えています。中には、思い出の曲などをリクエストすると生演奏でプロポーズを盛り上げてくれる演出に加えて、そのタイミングやセリフまで親身に相談に乗ってくれる会場も。一生に一度の瞬間を“シェア”することで、周りの人たちと幸せを分かち合い、結婚をめざす二人の絆がさらに深まるのかもしれないですね。



■招待客の心地よさを重視した「おもてなし席次」というトレンド兆しも…

結婚式や披露宴の準備をするカップルの悩みの1つが席次ではないでしょうか。従来の日本の多くの披露宴が、昔からのしきたりにならい、勤務先の上司を主賓席に、友人は世代別に分け、家族や親族は新郎新婦から最も遠い席に配置する席次がほとんどでした。しかし昨今、招待客にリラックスして過ごしてほしいという思いから、「肩書にとらわれず趣味の同じ人同士を同じ卓にする」「子連れの招待客が万一の際に中座しやすいよう、立場に関わらず出入り口付近に配置する」「高砂を無くしてゲストと同じ大きな卓につく」など、席次に工夫をするケースが見られるようになりました。『ゼクシィ』が、新婚2年以内の花嫁さんに、「おもてなし席次」に対し聞いたところ、6割近くが「気配りを感じる」と好印象でした。（調査詳細は次頁）

厳かな雰囲気ももちろん身が引き締まりますが、席次が決まらないと悩むカップルは、ゲスト全員がくつろげるような「おもてなし席次」も参考にしてみても?



リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

本件に関するお問い合わせ先

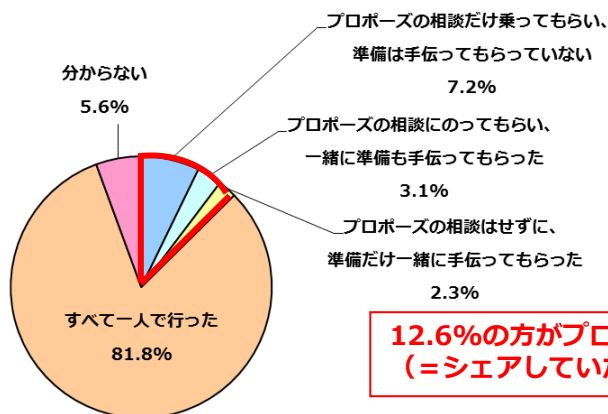
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

大切な人たちに見守られながら、真剣な思いを伝え、そして受け取るシェアプロポーズ。その幸せなその瞬間は、本年度のゼクシィのCMでも登場致しました。
 今、新郎たちは何故、ふたりだけでなく周囲のだれかに協力してもらおうのか。そこには「彼女を心から喜ばせたい。」そんなシンプルで温かな思いがあるのだと思います。
 おもてなし席次に関する同様です。ふたりのゲストに対する「心地よく過ごしてほしい」という思いが込められています。プロポーズも式当日も、人が人を想う温かな気持ちから様々な行動は始まっている。そんな風感じます



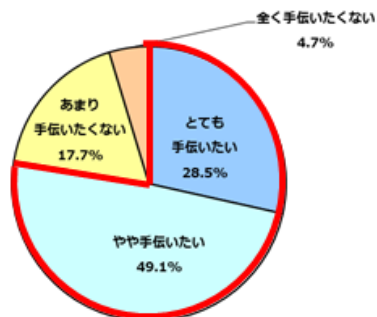
(参考) 「プロポーズに関するアンケート」 (n=515名、2014年3月28日(金)~2014年3月29日(土)実施)

Q: プロポーズを、家族や友人などに相談したり、周りを巻き込み・手伝ってもらいましたか？
 プロポーズされた人は、相手が手伝ってもらっていましたか？ (N=515/単一回答)



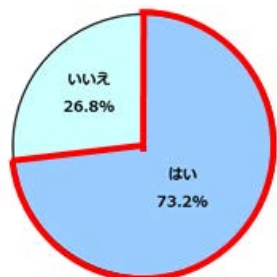
12.6%の方がプロポーズの準備を手伝ってもらった (=シェアしていた) と回答。

Q: 周囲の誰かにプロポーズの協力を頼まれたとき、手伝いたいと思いますか？ (N=515/単一回答)



77.6%の方が、プロポーズの協力を依頼されたら「手伝いたい」と回答。

Q: プロポーズをする前に、相手からOKをもらえる感触を得られていましたか？
 プロポーズされた人は、相手からプロポーズされることを予感していましたか？ (N=515/単一回答)



73.2%の方が事前にプロポーズ成功の確証を得ていた (プロポーズされると予想していた) と回答。

(参考) 「席次に関するアンケート」 (n=142名、2015年5月14日(木)~2015年5月18日(月)実施)

Q: 参列する側として気配りを感じるなと思うものを3つまで選んでください。 (N=142/3つまで回答)
 ※上位5項目を抜粋

周囲に気を遣わなくてもよいように、子連れの参列者はドアの近くに	71%
肩書にこだわらず、ふだんの仲のよさで席並びを決めた	59%
知らない人同士でも会話ができるよう共通の趣味の人を同じ卓にした	48%
年配の方が動かなくても新郎新婦がよく見えるような席に配置した	39%
周囲に気を遣わなくてもよいように、子連れの参列者同士を同じ卓にした	37%

■ レストランサプライズプロポーズ
(Alte Liebe Yokohama / 神奈川県・横浜)

レストラン内でのプロポーズサポートプラン。ヨーロッパから来日している専属の音楽家の生演奏がウリ。事前の支配人との打合せでは、生演奏用の思い出の曲などをリクエストできるだけでなく、タイミングやセリフまで相談にのってもらえる。毎週末のようにシェアプロポーズが行われるほど人気を集めているプラン。



■ フラッシュモブプロポーズ (ホテル日航東京 / 東京・台場)

ホテルマンに扮したシンガーやダンサーたちが、歌とダンスで祝福してくれるサプライズプラン。プロポーズをする人は、ダンスレッスン1回を経て、シンガーとダンサーたちに混ざってフラッシュモブに参加でき、プロポーズ後は夜景がきれいなレストランの窓側席で食事が楽しめる。レインボーブリッジの夜景をバックに繰り広げられる歌とダンスは、一生に忘れられない思い出になること間違いナシ。
※右写真はイメージです。



■ オーダーメイドプロポーズ (ベストブライダル)

完全にオーダーメイドでつくられるスペシャルプロポーズプラン。プロポーズ専任プロデューサーが、当日の言葉や購入する指輪など、プロポーズの事前から事後までケアしてくれる。また、オーダーメイドであるため、大聖堂前でバルーンを空高く飛ばたかせたり、チャペルを貸切してキャンドルを沢山飾るなど、場所や当日の内容含め、オリジナルのプロポーズプランの実施が可能。



写真提供：ベストブライダル

実際に行われた「おもてなし席次」をご紹介します

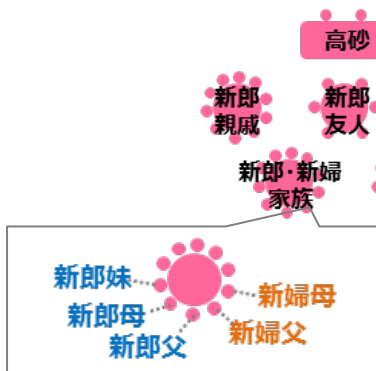
■ 高砂を無くし、全員がリラックスできる「おもてなし席次」



ポイント

- ①高砂を無くすことで、友人と同じ円卓で気兼ねなく会話ができるように。
- ②年配の方は動かなくても二人が見える位置にして、常にリラックスしていただけるように。
- ③1人参加のゲストのために、共通話題がある人の横に配置し、全員で楽しめる配席に。

■ 両家の家族を同席にした「おもてなし席次」



ポイント

- ①新郎新婦の親と兄弟を同じテーブルに配席。式の歓談中会話が弾んだり、演出も一緒に見守ることで、結婚式が親同士の共通の思い出となるように。
- ②一番最初に、一番きれいに二人の姿を眺められるように、新郎新婦の入場時のドア付近に両親の席を配席。